

# めでいかすとり Médicastre



「獅子舞」

## 令和3年度 日本医師会医療情報システム協議会報告

三原 一郎

日時：令和4年2月19日(土)～20日(日)  
※WEB開催

毎年2月に行われている日本医師会医療情報システム協議会ですが、今年度は2月19日、20日に「新しい時代の医療ICTーウィズコロナを生き抜く」をメインテーマにオンラインで開催されました。私は抄録のみでの参加でしたが以下がプログラムでした。

### I. 日本医師会が目指す医療ICT

国民と医療現場の役に立つ医療分野のICT化を推進するための日本医師会の活動報告

### II. 国が目指す医療ICT

令和3年9月に発足したデジタル庁から国が目指す医療ICTについて報告

後半は、オンライン資格確認・電子処方箋の進捗状況と展望

### III. 医療ICTのサイバーセキュリティ

ICTリテラシー育成のための実践的な事例を交えた報告

### IV. 地域医療情報連携ネットワーク

地域医療連携システムの新型コロナウイルス対応例の報告

### V. 新しい時代の診療形態

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえたオンライン診療の報告

### VI. 医療DXを進めるための先進ICT技術

最新の医療の現状や事例を報告

表記の中から、日本医師会が目指す医療ICTについて、私見を加えポイントを紹介します。

#### 1) オンライン資格確認

マイナンバーカードを利用して被保険者資格を即時に確認でき、レセプト返戻の減少や薬剤情報・特定健診等情報の閲覧が可能となるというメリットがあります。一方で、機器導入やネットワーク造設に対するランニングコスト、資格確認による窓口業務の増加などのデメリットもあ

り、普及にはある程度の強制力が必要と思います。一方で、今回の仕組みによって整備されるオンライン資格確認の回線は、全国の医療機関等を結ぶネットワーク基盤となるものであるとの説明がありました。そうであるならば国や日本医師会は医療IT化の今後のビジョンをしっかりと示し、導入を積極的にサポートする必要があると思いました。

#### 2) 電子処方箋

オンライン資格確認で整備されたネットワークを利用して紙の処方箋を廃止し、電子処方箋を導入することです。患者は処方箋を持参する必要がなくなり、患者自身で自己の処方内容を閲覧できるなどのメリットがあります。また、調剤薬局では過去の処方・調剤情報を参照できることでより安全な処方が可能となると考えられます。一方でこのような構想は10年以上前からあり未だ実現していません。いつになったら当たり前の時代になるのか不透明です。

#### 3) オンライン診療

2018年に解禁となりましたが、日本医師会の基本的な考え方は「解決困難な要因によって、医療機関へのアクセスが制限されている場合に対面診療を補完するもの」としており、対面診療に代わるものではない旨を強調していました。オンライン診療は様々な事情で通院が難しい患者さんへの有効な手段だとは思いますが、医療機関にとってのメリットは少なく普及は限定的と考えています。

#### 4) 医師資格証の普及

日医会員の取得率は10%程度と普及には程遠い状況です。医師資格証は安全な医療情報ネットワークの運用や各種証明書などにおける印鑑に代わる個人認証に必須と考えられてきました。しかし、医療IT化の未来を描き切れず、その必要性が十分説明されていないことが普及しない要因と考えます。

## 第14回 庄内プロジェクト 緩和ケア市民公開講座開催

鶴岡市立庄内病院 地域医療連携室 渡部 忠

日時：令和4年3月5日(土)

場所：いろり火の里 なの花ホール

第14回 庄内プロジェクト緩和ケア市民公開講座が令和4年3月5日(土)、三川町いろり火の里なの花ホールにて開催されました。当日は181名の来場者があり盛況のうちに終了しました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大でイベント開催が困難な状況が続いたことから、開催方式を従来通りにするか、オンライン開催へ変更するかどうかいろいろ検討されましたが、開催するにあたり検温、消毒、人数制限、換気などの感染防止対策を徹底することで、2年ぶりの会場開催にこぎつけました。

当日は「緩和ケアと庄内プロジェクト」と題して、緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川のセンター長 鈴木聡 庄内病院長が、庄内プロジェクトの活動により緩和ケアへの理解が進み、在宅死亡率が向上したという成果を紹介しました。

続いて、「死にゆく人の心に寄りそう～最期まで家で過ごすということ」の演題で、看護師、僧侶、スピリチュアルケア師、ラジオパーソナリティなど幅広い活動をしておられる玉置妙憂氏より講演していただきました。講演の中で、人の死を取り巻く医療は進歩しているが人の死についてのエキスパートはいない、訪問看護や介護などいろいろなサービスは充実しているがこれを使う人の心のケアが足りていないなどの現状と、日常生活を快適に過ごす心の持ち方などをお話ししていただきました。

終了後のアンケートでは「とても良かった92%」「まあまあ良かった8%」と大変好評でした。ほかに「もっとスピリチュアルケアについて聞きたかった」という声もありました。

庄内プロジェクトでは、緩和ケアの普及・啓発を目的として、市民公開講座のほかに、患者さんやご家族と医療者が語り合えるための場の提供を今後も進めていく予定です。

令和3年度緩和ケア市民公開講座が、関係者の皆様のご協力で盛会のうちに終了することができ、厚く感謝申し上げます。



スタッフ写真



玉置妙憂氏

新企画！

# My Memories

第 1 回



幼少期や学生時代の思い出のエピソードなどを語っていただきました。

鶴岡市立荘内病院 吉田 宏



今から43年前の医学部3年生の冬、近所の同級生の家に遊びに行った時の写真です。

たまたまそこで、以前から一目惚れしていた将来の妻に再会しました。妻と同級生はピアノ演奏を通して友達になり、妻は楽譜を返しに偶然訪れたのですが、よくよく聞くと妻も私に一目惚れだったらしく、その場で意気投合しトントン拍子に付き合いました。



多少眠そうな顔をしています、

ジャニーズばりのベビーフェイスに亡き妻は惚れたのかしらん？

失礼いたしましたm(\_)\_m

\*\*\*\*\*

茅原クリニック 菅原 真樹



この写真は3歳か4歳くらいの写真でしょうか。この頃の記憶は全くありませんが、この企画が始まるということで押し入れから探し出してきました。小さい頃とはとにかくよく泣く子供だったようです。とても負けず嫌いで、2歳上の兄に負けても悔しくて何度も勝負を挑んでいたということです。絵を描くことが好きで、広告の白紙の裏面を見つけては、一面に漫画や乗り物の絵を描いていました。小さい頃は、3月生まれということで同級生に比べると体が小さく、ハンデ差があっても苦労した記憶があります。それでも、とにかく練習をして、野球部では小学校5年生からレギュラーで活躍していました。

高校の入学時に160cmだった身長が、卒業時には180cmまで伸び、久しぶりに会う同級生には大きくなったとよく言われます。体を動かすことが好きで、今でも陸上競技やスキーを楽しんでいます。中学生になった息子と一緒にランニングをすることが今の一番の幸せな時間です。いつか、駅伝の大会で親子リレーすることを夢見て日々トレーニングをしています。老後は、北海道か沖縄に住んで、絵を描きながら海外を回りたいなというぼんやりとした思いがあります。



# 新入会員紹介 ～令和4年4月1日入会～

①氏名 ②生年月日 ③生まれた所・育った所 ④勤務先・診療科目  
⑤出身校 ⑥趣味・特技 ⑦鶴岡地区医師会会員の皆さんへ一言



- ① 浦井 秀樹
- ② 昭和31年5月17日
- ③ 新潟県津南町
- ④ 鶴岡協立病院・腎臓内科
- ⑤ 秋田大学医学部
- ⑥ JAZZ鑑賞・木版画
- ⑦ 秋田大学血液・腎臓・膠原病内科の出身です。よろしくお願ひいたします。

- ① 和田 武志
- ② 昭和52年8月17日
- ③ 広島県広島市
- ④ 三川病院・内科
- ⑤ 愛知医科大学
- ⑥ 旅行、将棋
- ⑦ 皆様、よろしくお願ひいたします。



- ① 武内 健太郎
- ② 平成4年1月28日
- ③ 大阪府貝塚市
- ④ 鶴岡市立荘内病院・臨床研修医
- ⑤ 山形大学
- ⑥ サッカー
- ⑦ 山形の食べ物の美味しさ、お酒の美味しさが大変魅力的で研修も山形県でさせていただくことになりました。よろしくお願ひ致します。



- ① 高山 圭介
- ② 平成5年2月2日
- ③ 福島県・山形県山形市
- ④ 鶴岡市立荘内病院・臨床研修医
- ⑤ 東北医科薬科大学
- ⑥ 料理、お菓子作り



- ① 中島 伸
- ② 平成5年2月12日
- ③ 山形県山形市
- ④ 鶴岡市立荘内病院・臨床研修医
- ⑤ 東海大学
- ⑥ 音楽鑑賞、旅行
- ⑦ 少しでも鶴岡の医療の力になれるよう、精一杯がんばります！ よろしくお願ひ致します。



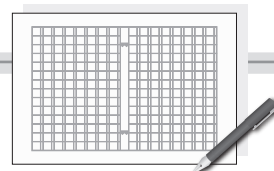
- ① 伊藤 明伸
- ② 平成7年7月13日
- ③ 神奈川県横浜市
- ④ 鶴岡市立荘内病院・臨床研修医
- ⑤ 東北医科薬科大学
- ⑥ 旅行
- ⑦ 宜しくお願ひいたします。



- ① 五十嵐 愛
- ② 平成9年11月12日
- ③ 山形県鶴岡市
- ④ 鶴岡市立荘内病院・臨床研修医
- ⑤ 岩手医科大学
- ⑥ ドライブ、旅行、バドミントン
- ⑦ 地元である鶴岡の医療に携わることができ、嬉しく思います。よろしくお願ひします。



## 原稿募集中！



趣味・話題・旅行記・思い出があるもの・大切な思い出の出来事等なんでも構いません。 総務課までご一報を！

## 医師会ニューフェイス ～令和4年4月1日採用～

①氏名 ②所属 ③趣味・特技 ④ひとこと



- ① 石川 愛美  
② 総務部 総務課 一般職  
③ ドラマ・映画鑑賞、旅行  
④ 地域に貢献できるよう努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



- ① 佐藤 知紅  
② 荘内地区健康管理センター 保健企画課 一般職  
③ ドラマを見ること、スポーツ観戦  
④ みなさんとたくさんコミュニケーションをとりながら頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



- ① 今野 如花  
② 荘内地区健康管理センター 事業推進課 一般職  
③ フラメンコ、カフェ巡り、犬  
④ 「報・連・相」を大切にし、信頼される職員を目指して頑張ります。



- ① 菅原 望  
② 荘内地区健康管理センター 健診課 診療放射線技師  
③ ピアノ、YouTube  
④ 早く仕事を覚えられるように精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



- ① 漆山 友美  
② 荘内地区健康管理センター 健診課 看護師  
③ スポーツ観戦、フットサル、韓国ドラマ鑑賞  
④ 年に1回の健診は自身の生活習慣を見直すきっかけになり健康意識を高められる大変意義深い日だと思います。そのような大切な1日に関わらせていただくことになり、地域の皆さまの健康作りのため精一杯努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



- ① 佐藤 有未  
② 荘内地区健康管理センター 臨床検査課 臨床検査技師  
③ 卓球、映画鑑賞  
④ 早く仕事を覚えて、技術や知識を身につけていきたいです。よろしくお願い致します。



- ① 大瀧 果歩  
② 荘内地区健康管理センター 臨床検査課 臨床検査技師  
③ 映画鑑賞  
④ 1日でも早く戦力になれるように精進してまいります。



- ① 飯塚 優希  
② 湯田川温泉リハビリテーション病院 栄養科 管理栄養士  
③ 犬と散歩に行くこと  
④ 初めてのことが多く、何かとご迷惑をおかけするかと思いますが、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



- ① 本間 紅莉  
② 湯田川温泉リハビリテーション病院 看護課 看護師  
③ おいしい物を食べる事、旅行  
④ 日々の業務の中で、明るく丁寧に優しい看護を心がけていきます。コロナが収まったら、たくさんおいしい物を食べに行ったり、旅行に行きたいです！よろしくお願い致します。



- ① 原 真都  
② 湯田川温泉リハビリテーション病院 看護課 准看護師  
③ 音楽鑑賞、読書  
④ 一生懸命頑張ります。よろしくお願い致します。



- ① 丹野 安里沙  
② 湯田川温泉リハビリテーション病院 医事課 一般職  
③ 映画・音楽鑑賞  
④ 一日でも早く仕事を覚え、戦力となれるように日々取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願い致します！



- ① 上野 裕子  
② 介護老人保健施設みずばしょう 療養課 介護福祉士  
③ 音楽を聴くこと、映画鑑賞  
④ 今年の4月から老健に配属となりました。早く仕事に慣れるよう努力しますのでご指導のほどよろしくお願い致します。



- ① 五十嵐 一樹  
② 地域包括支援センターつくし 生活支援コーディネーター  
③ 料理、映画鑑賞  
④ 一日でも早く地域の人々と関われるように頑張ります。



## 故 今野 裕 先生のご冥福をお祈り申し上げます。

令和4年5月2日ご逝去 満95歳

### 弔 辞

今野 裕先生。先生は、新緑が映え、木々の間をさわやかな風が吹き渡るようになった去る5月2日、忽然と永眠されました。

先生は、体調を崩されてからは鶴岡地区医師会介護老人保健施設「みずばしょう」にて穏やかにご療養中とお聞きしておりましたので、このたびの訃報は余りにも突然なことであり、本日ここにお別れしなければならぬことは、誠に痛切の極みであります。

ご遺族、ご親戚の方々のお悲しみはいかばかりかと推察し、医師会会員並びに職員一同心からご冥福をお祈り申し上げます。

顧みますと、先生は昭和33年3月に日本大学医学部をご卒業後、日本大学板橋病院小児科に入局され、昭和36年4月から東京都板橋区健育会竹川病院、昭和38年7月からは埼玉県戸田中央病院に勤務された後、昭和39年5月に生まれ故郷である鶴岡市湯田川に開業され、昭和42年4月には鶴岡市みどり町に今野内科胃腸科医院として移転されました。

以来、内科医として地域医療活動を積極的に展開され、多大なるご貢献をされてこられました。特に学校医や園医として数多くご担当され、42年の長きにわたり、学校、保護者、地域関係者の方々と連携し、時代の情勢に応じた適切な話題提供を行い、子どもの健康増進のための取組みに示唆を与え続けてくださいました。

さらに、先生は、このいとまない本業の中で、昭和51年から山形県医師会代議員を10年、昭和54年から鶴岡地区医師会の理事を6年お務めになり、この間、山形県医師国民健康保険組合議員など地域の代表として数多くの役職を歴任されました。

昭和59年には地域住民の健康増進と成人病撲滅のため庄内地域では初めてとなる「荘内地区健康管理センター」を設立するにあたり、その準備委員会委員としてご尽力され、地域の保健、医療、福祉の進展に大きく寄与し、地域福祉の向上に貢献されたご功績は誠に大きいものがございます。

先生のこのような長きにわたるご活躍とご功績

に対して、平成元年には山形県医師会長による役員永年勤続表彰、平成3年の学校保健功労者表彰、続いて、平成10年には山形県学校保健連合会長による学校保健功労者表彰、さらに平成26年の春の叙勲では地域医療の発展向上、学校保健の充実発展に努めたご功績により瑞宝双光章の栄に輝かれました。

これら栄えある表彰は、多くの地域の皆さんから長きにわたり信頼され、絶大な安心感を持たれ、地域医療に取り組みされてきたことを裏づける証しでもありますし、これはひとえに先生の温厚、かつ、極めて高潔なお人柄の証しでもあると存じ上げます。

改めて、先生に対しここに敬意と感謝を申し上げます。

先生は、本業のほかにも、鶴岡地区医師会の広報誌「わかあゆ」の編集に昭和47年の創刊号から携わり22年の長きにわたり全17号の発刊にご尽力されました。その中で、先生の調査報告として「鶴岡市中学校生徒貧血検査、食事調査及び生活環境調査」について発表され、学校保健分野においても後世につながる成果をあげておられます。

いま、世界中で新型コロナウイルス感染症の克服に向けて英知を結集して闘っておりますが、鶴岡地区医師会においても地域の皆さんを感染から防ぎ治療にも懸命に努力しているところであります。私たち医師会員は、先生が示された確固とした情熱と遺訓を受け継いで、地域の皆さんの健やかな生活を支援するため邁進してまいります。

先生、どうぞ私たちを見守りください。

最後に、本日のお別れに際し、先生のご逝去を悼み、ご生前の輝かしいご功績とご遺徳を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉といたします。

裕先生、どうぞ、やすらかにお眠りください。

令和4年5月8日

一般社団法人鶴岡地区医師会  
会長 福原 晶子

## めでいかすとる 3月号 訂正について（お詫び）

3月15日発行 第350号めでいかすとる3月号に掲載しております、令和3年度第11回定例理事会報告の出席者につきまして、一部誤りがございました。誠に申し訳ございません。

正しくは下記の通りとなります。

## 出席者

会 長：福原晶子  
副 会 長：小野俊孝 阿部周市  
理 事：武田憲夫 三原一郎 蘆野吉和 石原 良 本田 学 吉田 宏  
          鈴木 聡 上野寿樹 須貝孝一 三浦道治 渡邊秀平 菅原真樹  
監 事：佐久間正幸 木根淵智子 中目哲平  
議 長：堀内隆三  
副 議 長：三井卓弥  
事 務 局：御橋慶治 菅原由紀 大井 泰 井上祐司



## 表紙

## 「獅子舞」

保健企画課 佐藤 洋介

お祭りシーズン。写真は子供達が舞う獅子舞の手作りの獅子頭です。

子供の頃は怖いだけのものでしたが、獅子舞には疫病退治を祈願する意味があるそうです。今こそ強く祈ろうかと思えます。

## 編集後記

過ごしやすい季節がやってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。今年は桜の開花が早く、横浜の妹が鶴岡に遊びに来たときにはまだ開花しておらず、帰宅した直後に開花し、すぐ散ってしまった感があります。桜はとても好きですが、「明日の朝、早起きして桜を見に行こう」と思い、起きられた事は一度たりともありません。例年、家の前の桜並木を通勤の5分ほど見て終わるので、いつももっとゆっくり見たいのに残念だな、と思いながら毎春が終わってしまいます。本当かどうか定かではありませんが、某ソ○ト○ン○の社長室には小川と桜があり、桜は春の間？ずっと咲いているのだとか、YouTube情報ですので悪しからず。


今年は3年ぶりに行動制限なしのゴールデンウィークになったと報道されていました。旅行に行こうとも思いましたが、考える事は皆同じで、どこのホテル・旅館も予約でいっぱいでした。旅行には行けませんでしたが、今年は妹家族が3年ぶりに鶴岡に来ることが出来たため、久しぶりに顔も見れ、親族がそろった良いゴールデンウィークを過ごせました。皆様はどのようにお過ごしになりましたでしょうか。きっと楽しいゴールデンウィークだったと思います。

(木根淵 智子)



編集委員：渡邊秀平・小野俊孝・吉田 宏・木根淵智子・菅原真樹・中目哲平

発行所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町 1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail [ishikai@tsuruoka-med.jp](mailto:ishikai@tsuruoka-med.jp)ホームページにも掲載しております  URL <http://www.tsuruoka-med.jp>